



2019年

展示室2

7月5日(金)→10月6日(日) 文京区立森鷗外記念館

10時～18時

(最終入館は閉館30分前)

※ 休館日は7月23日(火)、8月27日(火)、9月24日(火)
 ※ 7月9日(火)、8月25日(日)は9時より開館
 ※ 8月3日(土)は21時まで開館
 ※ 8月25日(日)は文京区内在住・在勤・在学者に限り
 観覧無料(要身分証明書)。

一般300円

(20名以上の団体:240円)

○ 中学生以下無料、障害者手帳ご提示の方と
 介護者1名まで無料
 ○ 文京ふるさと歴史館入館券、パンフレット(押印入)、
 友の会会員証ご提示で2割引
 ○ その他各種割引がございます。詳細は記念館HPをご覧ください。

文学とビール

— 鷗外と味わう麦酒の話 —

「とりあえずビール」と、現在では手軽に飲むことができるビール。江戸時代末に日本にもたらされたビールは、明治に入って本格的に醸造され始め、広く飲まれるようになったのは40年代以降のことでした。

鷗外は、日本ではまだビールが貴重だった明治17年から21年まで、陸軍軍医としてドイツに留学し、本場のビールを楽しみました。留学中の日記『独逸日記』では、鷗外が醸造所やオクトーバーフェスト（ビール祭り）を訪ねたり、自ら被験者となって「ビールの利尿作用」について研究していたことが分かります。

こうした鷗外のビール体験は『うたかたの記』（明治23年などの作品に生かされました。また、同時代の文学者たちもビールを作品中に描きました。夏目漱石『吾輩は猫である』（明治38、39年）、太宰治『酒の追憶』（昭和23年）に見られるおもしろいや、晩酌としてのビール、高村光太郎『カフェ、ライオンにて』（大正2年）に見られる酒場の様子など、文学作品には明治・大正から現代に通じる様々なビールのある風景が登場します。

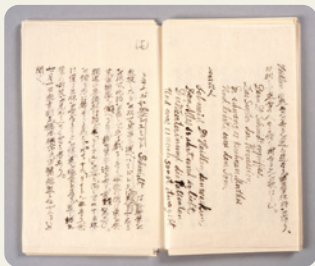
本展では、鷗外のビール体験に触れると共に、文学作品に登場するビールのある風景を、所蔵資料から紹介します。この夏、ビールを切り口に文学作品を味わってみませんか。



●ドイツ留学中の明治19年、誕生日祝いに贈られたビールジョッキ



●「うたかたの記」
「しがらみ草紙」11号 明治23年8月



●『独逸日記』明治18年6月27日の項
ドイツ人の飲酒量に驚く記述が見られる



●夏目漱石『吾輩は猫である』上編
大倉書店 明治39年1月 4版

●同時開催●

コレクション展開催中のコーナー展示として、下記資料を展示します（会場・展示室1）。
展示観覧券で、コレクション展と共にご覧いただけます。

●鷗外忌記念展示

7月9日の鷗外命日（鷗外忌）にちなみ、鷗外「遺言書」の原資料を展示します。
また、鷗外忌当日に展覧会を観覧された方に、オリジナルしおりをプレゼントします。
遺言書展示期間：7月5日（金）～31日（水）

●コーナー展示「ドイツ三部作」

『舞姫』『うたかたの記』『文づかひ』を、鷗外のドイツ留学体験などを交えて紹介します。
展示期間：7月5日（金）～10月6日（日）の開館日

●関連企画●

●講演会「森鷗外とドイツ・ビール」

森鷗外は、留学中、機会があるごとに本場のドイツ・ビールを堪能しています。
そんな彼のビール体験について、ドイツの文化や歴史を交えながら解説します。

講師：美留町義雄氏（大東文化大学教授）
日時：9月7日（土）14時～15時30分
会場：文京区立森鷗外記念館 2階講座室
定員：50名（事前申込制）
料金：無料（参加票と本展覧会観覧券（半券可）が必要）
申込締切：8月23日（金）必着

【申込方法】

- ・往復はがき
往信に「9月7日講演会」・氏名（ふりがな）・住所・電話番号を、返信用には、住所・氏名を明記の上、〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 文京区立森鷗外記念館「展示関連イベント」受付係までご応募ください。
- ・Eメール
件名に「9月7日講演会」、本文に氏名（ふりがな）・電話番号・Eメールを明記の上、bm-k-event@moriogai-kinenkan.jp にご応募ください。

※申し込みは、1通につき1名様（お一人様1通まで）、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
※ご不明な点等ございましたら、文京区立森鷗外記念館にお問い合わせください。

●ギャラリートーク

展示室にて当館学芸員が展示解説を行います。

日時：7月24日（水）、8月21日（水）、9月18日（水） 各日14時～（30分程度）

●学生ギャラリートーク

展示室にて文京区内大学の有志が解説を行います。

日時：9月1日（日）11時～／14時～（各回30分程度）予定

※詳細は当館HPをご確認ください。
※ギャラリートークはいずれも申込不要、展示観覧券が必要です。

●オリジナルビール●

展覧会期間中、モリキネカフェにて島根県のブリュワリー・石見麦酒のオリジナルクラフトビールを販売します。

●モリキネカフェ 10時～17時30分（ラストオーダー 17時）



※一般の駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

- 電車
・東京メトロ千代田線「千駄木」駅
1番出口徒歩5分
・東京メトロ南北線「本駒込」駅
1番出口徒歩10分
・都営三田線「白山」駅
A3番出口徒歩15分
・JR山手線・京成線「日暮里」駅
南口徒歩15分
- バス
・都営バス63番系統
「千駄木一丁目」下車徒歩1分
・都営バス上58番系統
「団子坂下」下車徒歩5分
・Bーぐる千駄木・駒込ルート
「18特別養護老人ホーム
千駄木の郷」下車徒歩5分

「教科書のなかの文学／教室のそとの文学Ⅲ —森鷗外「舞姫」とその時代—

- 会期： 2019年6月29日（土）～9月14日（土）
- 休館日： 毎週日曜・月曜日、第4木曜日
- 開館時間： 9時30分～16時30分（最終入館16時）
- 観覧料： 一般300円、中学・高校生100円 ※団体割引あり